

稲作情報 No.1

令和8年6月9日
湖北農業農村振興事務所農産普及課
(湖北農業普及指導センター)

中干しを始めましょう!

1. 生育状況と水管理

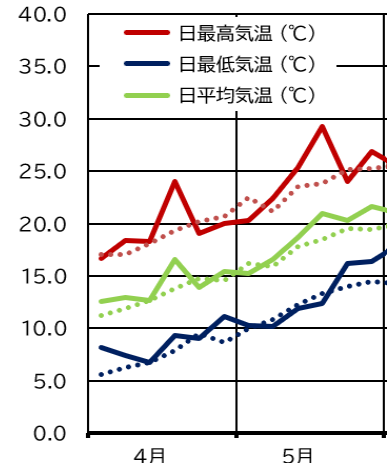
5月第2半旬以降気温は平年より高く推移しています。5月上旬までに移植した「コシヒカリ」や「みずかがみ」等の早生品種の生育は、草丈はやや長く、茎数はやや多く推移し、中干し時期となっています。

移植後は、**浅水管理**を基本とし、遅植えなどでは還元障害が出ているところでは、分けつ促進のため軽い田干しを実施しましょう。

2. 中干しの実施

中干しは、軽くひび割れ、足跡がつく程度まで行い、地耐力を高めましょう。

令和8年産稲作期間気象図
(虎姫アメダス)



中干し開始適期の株張り程度(目安)

○中干し開始時期

5月上旬までの移植では6月第2半旬から、5月中旬移植では移植後1か月を目安に開始しましょう。

【中干し開始時期の株あたり茎数の目】

栽植密度	50株/坪	60株/坪	70株/坪
コシヒカリ	20~21本	17~18本	14~15本
みずかがみ	—	16本	14本



中干しの程度(ひび割れと足跡)

○溝切り

中干し後の水管理を容易に行うため、溝切りをしましょう。

溝切り前に田面を少し固めてから、再度浅水にして溝を切ると崩れにくい溝を形成できます。

1) 溝切りは、1本/10a以上が基本です。収穫前に乾きにくいほ場や水稲跡に麦を栽培する場合は、溝の本数を増やしましょう。

2) 溝と尻水戸(排水口)を確実につなぎます。